

令和元年度第5回大分市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和2年2月5日(水) 15:00~16:00

2. 場 所 議会棟3階 第5委員会室

3. 出席者

○総合教育会議構成員	大分市長	佐藤 樹一郎
	大分市教育委員会教育長	三浦 享二
	大分市教育委員会委員	古城 和敬
	大分市教育委員会委員	大久保 眞理子
	大分市教育委員会委員	上杉 美穂子
	大分市教育委員会委員	生野 誉士

○事務局

企画部長	江藤 郁	教育部長	佐藤 雅昭
企画部審議監	伊藤 英樹	教育部教育監	重石 多鶴子
企画部審議監	広瀬 正具	教育部次長	桑野 徹
企画部審議監兼ラグオリパラ推進局長	佐藤 善信	教育部次長兼学校施設課長	池田 武文
企画部次長兼スポーツ振興課長	三好 正昭	教育部次長兼体育保健課長	西川 幸宏
企画課長	小野 晃正	教育部次長兼文化財課長	坪根 伸也
文化国際課長	衛藤 祐一	大分市美術館副館長兼美術振興課長	長田 弘通
防災危機管理課長	小林 一幸	教育総務課長	高田 隆秀
市民協働推進課生活安全推進室長	安部 光	学校教育課英語教育推進室長	坂本 浩二
人権・同和对策課参事補	田邊 美紀	人権・同和教育課長	河野 正行
長寿福祉課長	斉藤 修造	社会教育課長	永田 佳也
障害福祉課長	永田 浩貴	教育センター所長	御手洗 宏昭
生活福祉課長	安藤 裕二	教育総務課参事	岡本 隆憲
健康課長	中宗 三和子	教育総務課参事補	黒木 眞由美
子どもすこやか部次長兼保育・幼児教育課長	指原 高広	教育総務課指導主事	三嶋 みどり
子育て支援課長	横川 幸一	教育総務課主任	園田 哲也
都市交通対策課長	橋本 陽嗣		
企画課参事補	足立 威士		
企画課主査	生野 宏樹		

4. 次 第
- (1) 開 会
 - (2) 議 事
 - 1. 次期大分市教育大綱（最終案）について
 - 2. 令和元年度「大分市教育大綱・教育ビジョン」関連事業について
 - (3) 閉 会

<p>1. <u>開会</u></p> <p>企画部長</p>	<p>定刻となりましたので、ただいまから、令和元年度 第5回大分市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>本日は、古城一委員が、都合によりご欠席されておりますので、ご報告いたします。</p> <p>それでは初めに、本会議の議長であります、佐藤市長からご挨拶申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>本日は「令和元年度 第5回大分市総合教育会議」にお集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>本日の総合教育会議が、今年度最後ということでありますけれども、今年度は、教育大綱の改訂をはじめ、子どもの安全や社会の変化に対応した教育環境の整備など、大変重要なお議論をいただいたと思っております。</p> <p>昨年、ラグビーワールドカップで大分は大変盛り上がりまして、今年もオリンピック・パラリンピックに向けて様々な取組をしております。また報道もされておりますけれども、武漢と大分市は友好都市で、今年は40周年にあたりまして、色々と記念事業等も予定しておりましたところ、武漢が今のような状況でございますので、大分の方からは、マスクを3万枚お送りいたしました。お見舞いの手紙を出した際に、必要なものがあつたらご連絡くださいと書きましたら、武漢の方からもこういう物が足りないという返事が来ましたので、防護服でありますとか、病院用のゴーグルなどをお届けしている所でございます。</p> <p>残念ながら、武漢の中学生と大分の中学生の交流を毎年行っておりましたけれども、こちらから行ける状況にないという事で、本年度は中止させていただきました。事態が沈静化しましたら、また来年度以降交流を進めたいと思います。その他にも武漢の市長さんが来まして、40周年記念事業を行うようにしておりましたけれども、これにつきましても延期といたしました。</p> <p>しかしながら、引き続きこのような取組、更にはこれから国際化時代をいよいよ本格的に迎えますので、様々な形で子どもたちが国際的な経験ができる場を創出していきたく思っております。</p>

<p>企画部長</p>	<p>そして、本日の議題でございますけれども、教育大綱の案につきまして、パブリックコメントに寄せられました市民の意見を踏まえた修正を行っております。その案につきまして、ご報告をさせて頂きましてご意見をいただきたいと思っております。それから、令和元年度の教育大綱、教育ビジョン関連事業につきまして、今年度の事業実績について報告することとしております。</p> <p>ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは早速ですが、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、本会議の議長であります佐藤市長にお願いしたいと思います。</p>
<p><u>2. 議事</u></p> <p>市長</p>	<p>それでは、本日の議事の1つ目でございます、「次期大分市教育大綱の最終案について」でございます。</p> <p>市民意見公募の結果とそれを踏まえた修正等につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>企画課</p>	<p>企画課 小野でございます。</p> <p>次期、教育大綱最終案についてご説明申し上げます。</p> <p>資料1-1をご覧ください。</p> <p>こちらは、次期大分市教育大綱案の市民意見公募に寄せられた意見の要旨とそれに対する本市の考え方についての資料でございます。</p> <p>12月16日から1月15日までの1カ月間、大分市ホームページや市報などを通じ、大分市教育大綱案について、市民意見公募、いわゆるパブリックコメントを実施し、6名の方からご意見をいただきました。</p> <p>ご意見の中には、お一人の方から複数の項目について述べられているものがございました事から、内容ごとに整理した結果、件数と致しましては11件となっております。</p> <p>意見内容につきましては、次のページ以降でご説明いたしますが、各目標に対する意見数は記述の通りとなっております。</p> <p>次のページをご覧ください。主な意見内容についてご説明申し上げます。</p> <p>まず「目標1 次代を担う人材育成について」でございますが、2点のご意見をいただきました。1点目が、教育基本法の教育の目標について、2点目がSTEAM教育や、スポーツ教育による課題解決能力の育成についてのご意見でございました。</p>

	<p>これらのご意見に対する大綱の修正はございませんが、市の考え方としてご意見に対する取り組み状況などを記載しております。</p> <p>次に「目標2 学びのセーフティネットの構築について」でございしますが、2点のご意見をいただきました。1点目が、不登校児童生徒の保護者への相談体制、支援体制の充実について、2点目が、障がいの早期発見、早期療育のための保健の役割の重要性についてのご意見についてでございました。</p> <p>1点目につきましては、保護者への支援体制などについての状況を記載し、大綱の修正はございません。</p> <p>2点目につきましては、保健の役割も重要であることから、ご意見を踏まえまして大綱の修正を行っております。</p> <p>本日、紙でお配りしております資料1-2、大分市教育大綱（案）の7ページをご覧ください。目標2の3項目目の赤字で記載している部分でございしますが、医療、保健、福祉などの関係機関とし、保健を追加しております。</p> <p>再度、タブレット資料にお戻りください。</p> <p>次のページをご覧ください。「目標4 生涯学習支援体制や家庭教育支援の充実について」でございしますが、2点のご意見を頂きました。1点目が、自然史博物館などの整備について、2点目が科学館の整備についてのご意見をいただきました。</p> <p>これらのご意見による大綱の修正はございませんが、市の考え方にはそれぞれのご意見に対して、社会教育施設などで行っている取組について記載しております。</p> <p>次に「目標6 文化・芸術を活かしたまちづくり」に関しましては、文化・芸術による都市間競争についてのご意見をいただきました。このご意見による修正はございませんが、総合計画や個別計画において、各種施策を掲げ取り組みを進めていく事を記載しております。</p> <p>次のページをご覧ください。次に「目標7 スポーツを通じた地域活性化について」でございします。2点のご意見をいただきました。1点目は、スポーツと教育の関係性について、2点目は目標7に対する考え方についてのご意見でございました。これらのご意見に対する大綱の修正はございません。</p> <p>最後に「目標8 人権尊重を基盤とした教育活動の充実」について、2点のご意見をいただきました。1点目は、「あらゆる差別」の表記について、2点目は人権啓発の推進についてのご意見でございました。</p> <p>1点目のご意見に対する大綱の修正はございませんが、2点目につきましては、基本方針6に人権啓発に関する項目が無かったことから、ご意見を踏まえ、大綱の修正を行っております。</p> <p>紙の資料、資料1-2 大綱案の10ページをご覧ください。</p> <p>新たに目標9として「人権尊重社会の実現に向けた人権啓発の推進」と、</p>
--	---

	<p>その取組である「人権尊重の理念を市民の日常生活に定着させるとともに、地域に住む様々な人々の相互理解を深めていくなど、啓発の充実に努めます」を追加いたしました。</p> <p>大分市教育大綱案に関する市民意見公募の結果報告と、修正後の大分市教育大綱最終案についての説明は以上でございます。</p>
市長	<p>ありがとうございました。ただ今事務局から説明がありました、市民意見公募の結果と、教育大綱最終案について、ご質問ご意見等ございましたらお願いいたします。あまり大きな修正が無かったので、文言修正にとどまっておりますが、ご指摘の中で大事な分野の文言追加でありますとか、人権の目標を追加したという事でございます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
古城（和）委員	<p>パブリックコメントに対する市の考え方という所で、科学館や博物館に対するニーズは必ず出てくるだろうと思っているのですが、関崎海星館等の施設、設備面での機能強化といった所が、そのニーズをカバーできるのかどうかという所をお伺いしたいと思っております。</p>
市長	<p>科学館については、議会でも議論されておりますし、多くの方からご意見をいただいております。科学館については、自然科学中心の物や、産業都市には産業科学技術館の様なものもあるのではないかと思います。色んな切り口があり、とりあえずこの中にも書かれておりますが、様々な所で科学に触れ合える様な整備を色んな所で行っていくということで、例えば、関崎海星館については、海星館の中にプラネタリウムを整備する事を進めております。海星館は、天体望遠鏡等がありますけど、プラネタリウムが無いので、整備に向けて取り組んでおります。また、県民全員が使えるような科学館という事であれば、大分市だけではなくて県が中心となって取り組む必要があるのではないかと思います。それから、私は産業という観点も入れて、企業の皆さんにもご協力をいただきながら、工業技術や産業技術に触れ合えるようなものが望ましいのではないかなと思います。そういう事であれば、産業界の皆さんも巻き込んだ議論を深める必要があろうかと思っております。</p> <p>今のところは、資料の市の考え方に記載しているような既存施設の機能強化や、科学や自然と触れ合えるような様々な活動の充実など、部分的な取組という事になっておりますけども、もう少し大きな議論も併せて必要ではないかと思いました。</p>
生野委員	<p>今、関崎海星館の話が出まして、昨年だったかと思うのですが、我々教</p>

	<p>育委員一同視察に行かせていただきました。初めて行ったのですが、非常に興味深いというか、子どもたちが見たら楽しいだろうと思う施設が充実していました。どうすれば子どもたちが自然や科学と触れ合えるかについて、限られている予算の中で職員の方も色んな工夫をされており、非常に感銘を受けたことを覚えています。</p> <p>ただ、関崎海星館の知名度が市内でどのくらいあるか、行った事がある人がどのくらいいるかということが気になります。学校の社会見学などで行く人がいるかもしれないのですが、それ以外で、家族で行った人がいるかなど、多分そんなに多くないのかなと思うのですが、これから施設の改修を行うという事ですので、例えば改修が終わった時に広報・PRの予算を取って、アピールをしっかりと行えば、きっとこのような意見も減ってくるのかなと思いました。</p>
市長	<p>ありがとうございます。ご指摘の通り、少し遠いのと、到着するまでの道路が狭くて、大型バスが通れないという課題があります。県に道路を良くしてもらおうという事を要望しているのですが、アクセスの問題、それからPRが足りていないという問題もあると思いますので、そういう所をしっかりと取り組んで行く必要があるかと思います。</p>
社会教育課	<p>また、春になりますと、アサギマダラが飛んできます。姫島が有名なのですが、姫島よりもおそらく関崎海星館の方がものすごい数のアサギマダラが飛んできますし、関崎灯台も歴史的に非常に意味のある、豊後水道を守る灯台がすぐ近くにありますので、そのようなものと併せて、魅力向上という意味でも、自然に触れ合う場所としても、PRをしっかりと行っていこうと思います。</p>
市長	<p>社会教育課の永田でございます。市長がおっしゃられた通りの内容でございます。我々としても色んな方に利用していただけるような工夫をしておりますが、その一つの契機になるのが、今後行う施設の機能強化の部分になると思っておりますので、その際の広報等については委員ご指摘の部分を踏まえて強化していきたいと思っております。</p> <p>他にはよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、最終案につきましては、次期大分市教育大綱案を最終案としたと思っておりますけど、よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。それでは、議事1につきましては以上とさせていただきます。</p>

<p>市長</p>	<p>つづきまして、議事の2、『令和元年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業』についてですが、今年度の第1回目の総合教育会議において、今年度における関連事業の取組についてご説明いたしましたが、今回はその実績という事で、説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>企画課</p>	<p>企画課長の小野でございます。令和元年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」の関連事業についてご説明申し上げます。</p> <p>大分市教育大綱、大分市教育ビジョンの関連事業につきましては、6月に開催いたしました、今年度の第1回総合教育会議で、今年度の事業概要についてご説明しております。本日は、それらの取組の実績報告として、関連事業のうち新規事業及び拡充事業を中心にご説明させていただきます。</p> <p>これらの事業につきましては、市長部局と教育委員会が連携しながら取組を進めておりますが、説明につきましては、初めに、教育委員会で所管しております事業について説明させていただいたのち、市長部局で所管しております事業の順で説明させていただきます。</p> <p>はじめに、令和元年度大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要及び実績と書かれたiPad資料2をご覧ください。</p> <p>オレンジ色で示しております事業は新規事業でございます。水色で示しております事業が拡充事業、緑色で示しております事業が継続の重点事業となっております。また、1ページの5番のように番号の下に（市）と記載した事業は市長部局の事業でございます。それでは、教育委員会の事業につきまして、教育総務課長から説明いたします。</p>
<p>教育総務課</p>	<p>教育総務課の高田でございます。教育委員会が所管する事業についてご説明いたします。</p> <p>初めに1ページでございますが、まず、教育大綱の「目標1 次代を担う人材育成」、教育ビジョンの「生きる力をはぐくむ教育活動の展開」についてでございます。</p> <p>1の拡充事業の「教科指導マイスター派遣事業」につきましては、退職教員が「教科指導員」として年間8回から10回程度、各学校を訪問し、具体的な授業場面において担当教員へ指導を行うものであります。</p> <p>今年度につきましては、国語科2名、数学科3名、理科3名、英語科3名に、新規の教科として社会科3名を加えた計14名を派遣し、指導力の向上を図ったところでございます。</p> <p>次に、2の拡充事業の「外国語指導助手招聘事業」につきましては、令和2年度からの新学習指導要領の実施に伴う、小学校高学年への英語科の導入、中学年への外国語活動の拡大に向けて、ALTを5名増員し、合計31名体制と</p>

	<p>し、さらなる英語教育の充実を図ったところでございます。</p> <p>次に、4 の拡充事業の「歯と口の健康づくり事業」につきましては、フッ化物洗口の実施校を年々拡大しているところであり、今年度は全小学校 53 校、中学校 18 校、義務教育学校 1 校の計 72 校で実施したところでございます。</p> <p>次に、教育ビジョンの「個に応じた教育活動の充実」についてでございます。</p> <p>7 の継続事業の「日本語指導等支援事業」につきましては、今年度 12 月末現在、児童生徒 19 名に対して、延べ 410 回、講師や通訳を派遣しております。また、令和元年 10 月より、日本語指導が必要な児童生徒及び保護者と教職員との日常的な意思疎通や情報伝達を行うことを目的とした、多言語翻訳機の貸し出しを開始したところでございます。</p> <p>2 ページをご覧ください。</p> <p>続きまして、教育大綱の「目標 2 学びのセーフティネットの構築」、教育ビジョンの、「すべての子どもの学びの保障」についてでございます。</p> <p>12 の継続事業の「特別支援教育メディカルサポート事業」につきましては、今年度は 4 名の児童生徒が事業を利用しており、委託した訪問看護ステーションから看護師を派遣し、医療的ケアを行っているところでございます。</p> <p>次に、13 の拡充事業の「特別支援等教育活動サポート事業」につきましては、小学校に 104 名、中学校に 21 名の補助教員を配置し、特に配慮が必要な児童生徒に対する支援の充実を図ったところでございます。</p> <p>次に、15 の拡充事業の「スクールソーシャルワーカー活用事業」でございます。今年度から嘱託職員のスクールソーシャルワーカーを 2 名増員し、計 24 名を市内全中学校及び義務教育学校に配置し、併せて、その校区の小学校を担当しているところでございます。また、正規職員のスクールソーシャルワーカーを教育センター、東部子ども家庭支援センターに各 2 名ずつ、西部子ども家庭支援センターに 1 名配置することにより、エリア体制及び子ども家庭支援センター等との連携を強化し、学校における教育相談体制の充実を図っているところでございます。</p> <p>次に、16 の拡充事業の「奨学助成事業」につきましては、給付型の奨学資金である「未来自分創造資金」の定員を平成 30 年度に 25 名から 50 名に拡大しており、今年度は卒業時の給付額を 5 万円から 10 万円に引き上げたところでございます。なお、今年度の奨学生募集状況につきましては、84 名からの応募があったところでございます。</p> <p>次に、17 の拡充事業の「就学助成事業」につきましては、今年度から、小中学校の卒業アルバム購入などにかかる費用、中学校 3 年生学力診断テスト</p>
--	---

	<p>費を補助対象項目として新設したところでございます。</p> <p>続きまして、教育大綱の「目標3 質の高い学びを実現する教育環境の整備」、教育ビジョンの「時代の変化に対応した教育環境の整備」についてでございます。</p> <p>19の継続事業の「小学校空調設備整備事業」につきましては、小学校49校の普通教室や特別教室、管理諸室1,076室へのエアコン設置を令和元年8月23日までに完了したところでございます。</p> <p>次に、20の継続事業の「学校施設整備保全整備事業」につきましては、昨年度から長寿命化改修工事を行ってまいりました、舞鶴小学校北校舎と横瀬小学校中校舎が昨年11月に完成し、今年度着工いたしました寒田小学校体育館は今月末に完成予定でございます。また、舞鶴小学校、横瀬小学校の南校舎は、本年3月から着工予定でございます。</p> <p>次に、21の継続事業の「学校施設整備保全整備事業」につきましては、PFI事業として、昨年10月に入札公告を行ったところであり、今後は、事業者から提出された提案書について審査を行い、本年3月に事業者選定を行う予定でございます。</p> <p>続きまして3ページをご覧ください</p> <p>教育大綱の「目標4 生涯学習支援体制や家庭教育支援の充実」、教育ビジョンの「生涯学習支援体制の充実」についてでございます。</p> <p>26の新規事業の「地区公民館施設整備事業」につきましては、複合施設内にある中央及び佐賀関を除く11地区公民館のうち9館が築30年以上経過しており、「大分市公共施設等総合管理計画」等による長寿命化に向けた取組が必要な状況であるため、今年度より計画的な施設整備を行い、施設の利便性の向上及び機能充実を図るものでございます。今年度は最も築年数の古い鶴崎公民館の長寿命化改修に向けて、基本・実施設計を現在実施しており、年度内に完了する予定でございます。</p> <p>続きまして、4ページをご覧ください</p> <p>教育大綱の「目標6 文化・芸術を活かしたまちづくり」、教育ビジョンの「美術の振興と発信」についてでございます。</p> <p>34の新規事業の「展覧会事業（特別展 磯崎新展）」につきましては、大分市美術館で日本初公開となるインスタレーションといった空間全体を作品とする演出をはじめ、磯崎新氏の思考を具現化した建築模型などの展示を行う「磯崎新の謎」展を開催したところでございます。また、コンパルホールでは、磯崎新氏、小説家の小野正嗣氏、画家のユキノ恭弘氏による、大分という土地の魅力についての鼎談を行うとともに、市内の磯崎建築を巡るツアーを英語通訳付きで2回開催するなど、世界的に注目される磯崎氏の業績を思考から実際の建築物まで、幅広く紹介したところでございます。</p>
--	--

<p>企画課</p>	<p>次に、教育ビジョンの「文化財の保護・保存・活用」についてでございます。</p> <p>35 の継続事業の「大友氏遺跡歴史公園整備事業」につきましては、本年 2 年 4 月の庭園公開に向け庭園池の北側部分の整備や園路整備、給排水施設整備等を現在、進めているところでございます。また、令和 2 年度からおおむね 10 年間となっています中期整備について、現在、史跡大友氏遺跡整備基本計画の改訂作業を行っているところでございます。</p> <p>次に、36 の拡充事業の「ワクワクおおいた Funai 魅力発信事業」につきましては、昨年度に引き続き「南蛮 B V N G O 交流館」を拠点に、ボランティアガイドによるガイドやイベントを実施するなど、大友氏遺跡をはじめとする市内の文化財の情報発信を進めてきたところでございます。また、ラグビーワールドカップ期間中には、FUNAI ジュニアガイドによる英語でのガイドや英語パンフレットの配布など海外からの来訪者への情報発信も行ったところございます。</p> <p>教育委員会が所管する事業についての説明は以上でございます。</p> <p>改めまして企画課長の小野でございます。</p> <p>続きまして、市長部局が所管する事業についてご説明いたします。</p> <p>1 ページにお戻りください。</p> <p>教育大綱の「目標 1 次代を担う人材育成」、教育ビジョンの「生きる力をはぐくむ教育活動の展開」についてでございます。</p> <p>5 の新規事業の「ハーバード大学生との交流事業」につきましては、抽選により選ばれた 120 名の参加者は、特に英語力の制限を設けていないことから、事前講座に参加いただき、交流会への準備をしていただきました。</p> <p>当日は、台風 8 号の影響から参加者が 96 名となりましたが、交流会では、ハーバード大学生による大学生活や将来の夢などについてのプレゼンテーションを聞いたほか、グループに分かれ、大学生の指導により、作文やスピーチなどの英語ワークショップを行ったところです。</p> <p>なお、当日は、保護者や多くの中学生にも、交流会の様子を見ていただくために、観覧席をご用意いたしました。</p> <p>また、ハーバード大学生には、滞在中、「チキリンばやし市民総おどり大会」に参加いただいたほか、大分の観光や日本文化なども体験していただきました。</p> <p>次に、教育ビジョンの「幼児教育の充実」についてでございます。</p> <p>10 の拡充事業の「幼稚園就園奨励事業」につきましては、昨年 9 月までの実績で、対象者が 2,211 名、交付額が 1 億 5 千 990 万 8 千円となっております。10 月からは、幼児教育の無償化に伴い、一律で月額 2 万 5,700 円</p>
------------	---

	<p>を上限に利用料が無償となったことから、本事業は終了いたしました。</p> <p>2 ページをご覧ください</p> <p>続きまして、教育大綱の「目標2 学びのセーフティネットの構築」、教育ビジョンの「すべての子どもの学びの保障」についてでございます。</p> <p>11 の新規事業の「医療的ケア児教育・保育事業」につきましては、昨年10月に事業を開始して以降、市立幼稚園に在籍する導尿の医療的ケアを必要とする幼児3名が事業を利用しております。委託した訪問看護ステーションから看護師を派遣し、医療的ケアを行っているところでございます。これにより、就学前の子どもの教育・保育機会の保障を図っているところでございます。</p> <p>次に、18 の新規事業の「子どもの居場所づくりネットワーク推進事業」につきましては、昨年10月より事業を実施し、第1回子どもの居場所づくりネットワーク会議におきまして、子ども食堂などを対象に本事業の概要や生活困窮、虐待などに関する相談窓口について説明を行ったところでございます。また、補助制度につきましては、申請や問合せを随時受けており、今後も子ども食堂などへの支援を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>3 ページをご覧ください</p> <p>続きまして、教育大綱の「目標4 生涯学習支援体制や家庭教育支援の充実」、教育ビジョンの「学習機会や内容の充実」についてでございます。</p> <p>29 の継続事業の「子どもの学習支援事業」につきましては、本助成事業の利用が可能な塾を、今年度新たに16か所指定し、12月1日時点で182ヶ所となっております。</p> <p>本助成事業の決定者は、12月1日時点で805人であり、昨年同時期と比較し67人増加しています。</p> <p>延べ利用者数については、10月末時点で3,830人と、昨年同時期と比較し436人の増加となっております。</p> <p>4 ページをご覧ください</p> <p>教育大綱の「目標7 スポーツを通じた地域活性化」、教育ビジョンの「競技スポーツの振興」についてでございます。</p> <p>38 の継続事業の「東京2020オリンピック・パラリンピック強化指定選手支援事業」につきましては、本市に縁のある選手の強化活動を支援するため、今年度は、オリンピック競技では、4種目7名を強化指定選手として指定し、パラリンピック競技では、5種目5名を指定いたしました。</p> <p>次に、39 の拡充事業の「国際スポーツ誘致推進事業」につきましては、東京オリンピック・パラリンピック関連といたしまして、4月に「ラグビー7人制女子フィジー共和国代表チーム事前キャンプ」と「フェンシングワールドカップグランプリ合同事前キャンプ」を誘致したところでございます。また、</p>
--	--

	<p>10月に開催されましたラグビーワールドカップ大分開催関連といたしまして、公認チームキャンプの実施や、国内外からの多くの観戦客のおもてなしのために「Enjoy Oita!! Welcome Fair」として様々なイベントを実施したところでございます。</p> <p>5ページをご覧ください</p> <p>続きまして、教育ビジョンの「スポーツ施設の整備」についてでございます。</p> <p>41の継続事業の「市営陸上競技場改修事業」につきましては、ラグビーワールドカップ2019日本大会の大会期間中に、市営陸上競技場にてJリーグの試合を開催することを契機に、空調設備等の改修工事を実施し、市営陸上競技場の機能向上を図ったところでございます。</p> <p>次に42の継続事業の「大南地区スポーツ施設整備事業」につきましては、今年度は、実施設計及び用地測量に取り組んでおります。本年3月末には、それぞれの業務が完了する予定でございます。</p> <p>また、今後につきましては、令和2年度から令和3年度にかけて、用地買収を行い、用地買収が完了次第、本工事に着手する予定としており、令和5年度中の供用開始を目指して事業を進めているところでございます。</p> <p>最後に43の新規事業「西部スポーツ交流ひろば改修事業」につきましては、今年度は、実施設計に取り組み、令和2年1月末に、業務が完了したところでございます。また、今後につきましては、令和2年度に人工芝整備工事を実施する予定としており、令和3年度からの供用開始に向けて事業を進めているところでございます。</p> <p>事業の実績報告につきましては、以上でございますが、引き続き事業実施にあたりましては、市長部局と教育委員会が十分に連携を図りながら、教育大綱、教育ビジョンの取組をしっかりと推進してまいります。</p> <p>議事2、令和元年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業についての説明は以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。事業の実績という事で、今年度どういう事を行ってきたかという所まで説明がありました。</p> <p>今の説明につきましてご質問ご意見等がございましたらお願いしたいと思っております。</p> <p>市長部局の1ページ目の5番のハーバード大学生との交流事業について、参加した中学生に感想や、アンケートを取ったりしたのでしょうか。</p> <p>文化国際課の衛藤と申します。参加した生徒や主催団体への聞き取り等を</p>
--	---

<p>生野委員</p>	<p>実施しております。</p> <p>可能であれば聞き取りした内容をまとめた集約結果を我々も確認したいという事と、今後続けていくのであれば改善に活かしていただければと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>廣津留さんがハーバード大学生の友達を連れてきて、サマーインジャパンという事業を行ってくれています。その時に合わせて大分の中学生を100人募集して、交流したことは大変良い機会だと思います。ハーバード以外にも、スタンフォードの学生と、APU や大分大学医学部の学生さんも一緒になってサポートしてくれました。貴重な機会であり良い事業ですので引き続き行っていければと思います。次年度の事業実施の時にはアンケートや感想をもらうようにした方がよいと思います。</p>
<p>大久保委員</p>	<p>スクールソーシャルワーカーの活用についてですが、先日校長先生達からお話しを聞いた時に、スクールソーシャルワーカーの力はすごく大きくて助かっているという話を聞きました。スクールソーシャルワーカーを何人配置すれば充分ということではないと思いますが、今後も配置人数を増やしていくことが出来れば良いと思いました。</p> <p>また、学校の空調整備についてですが、小中学校の普通教室への整備が完了したとのことですが、加湿についてはどうなっていますか。インフルエンザは加湿をすれば発生が抑えられるということですので、加湿の対策を何か行っているか教えてください。</p>
<p>学校施設課</p>	<p>学校施設課 池田でございます。</p> <p>中学校の空調設備を導入する際に、併せて加湿器も整備させていただきました。小学校につきましても同様でございます。</p>
<p>教育センター</p>	<p>大分市教育センターの御手洗です。スクールソーシャルワーカー活用事業につきましては、現在中学校を拠点として、全小中学校及び義務教育学校での対応ができる人数を配置できた所でございます。ただ、大規模校など学校によっては相談件数が多いという事もあり、一人のスクールソーシャルワーカーでは対応が難しい所もあります。今後は、複数配置などの配置変えや、相談件数、対応件数などを確認し精査する中、人数の増員について検討していきたいと思います。</p>
<p>上杉委員</p>	<p>資料2の2ページの「目標2 学びのセーフティネットの構築」について</p>

	<p>ですが、教育大綱へのパブリックコメントの方でもこの項目には皆さん関心があり、保護者としてももちろん思いがあります。不登校の件で、1月に小学校、中学校の校長先生方とお話しをさせていただいた時にも、子どもへのサポートだけでなく、家庭を含め、その環境全てをサポートしなければという事でありましたので、学校だけでなく、福祉や保健などもっと大きくネットワークを繋げて、より細かいサポートが必要ではないかと思っております。</p> <p>次に資料 18 番の子どもの居場所づくりネットワーク推進事業で、子ども食堂などへのサポートは非常に大切だと思うのですが、子どもの居場所づくりに関連して資料 3 ページの 26 番、地区公民館整備事業について、以前教育委員会で鶴崎公民館を視察させていただいた時に、施設を改修する時に高校生が利用する学習室のようなスペースを作ってみてはどうかという話がありました。その他にも公民館の中に、小学生や中学生も集まることができ、地域のおじいちゃん、おばあちゃんも集まれるような場所もセットで考えていければよいと思いました。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>学校教育課の坂本と申します。不登校については、上杉委員のご意見の通り関係機関と連携することが重要であると考えております。また福祉関係部局とも連携を取っておりますので、今後も引き続き連携していきたいと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>やはり不登校が色々な問題に繋がっていくケースが多いという事でありますから、様々な取組が必要になってくると思います。</p> <p>子どもの居場所の問題についてお願いします。</p>
<p>子育て支援課</p>	<p>子育て支援課の横川でございます。子育て支援課が担当しておりますのは、先ほども委員さんからございました、子ども食堂も絡めた居場所づくりとなります。子ども食堂を始める前のモデル事業と致しまして、29 年度に公民館を利用して居場所づくりを行ってみたのですが、その際に一人親家庭や両親が共働きの家庭において、お子さんが宿題をするときやご飯を食べる時に一人になってしまうので、お菓子ばかり食べてしまったり、好き嫌いが多しなどの事情がありましたので、子ども食堂を作る事によって、食事と宿題を教えるといった学習支援もセットでやってもらうという形で今回子どもの居場所づくりネットワークを企画いたしました。実際に今、市内に子ども食堂が 16 団体、20 ヲ所ございます。補助実績もあがっており、今年度いっぱいまで全ての子ども食堂がネットワークに入っただけのものではないかという勢いで相談を受けている所でございます。</p>

	<p>次に中高生の居場所につきましては、これまでに議会からもどこかに確保できないかというご意見がございまして、子どもすこやか部としては、新しく公共施設を設置する際には、そのような場所も確保できないか検討しますという形でこれまでもお答えしております。</p>
<p>市長</p>	<p>児童育成クラブとかも子どもの居場所という事になりますよね。</p>
<p>子育て支援課</p>	<p>子育て支援課横川です。育成クラブにつきましては、本来は6年生まで預かる形の国の指導になっているのですが、実際のところ、4年生以上では今年度4月1日の段階で5名ほど受け入れができなかったという事実がございまして、来年度に向けて整備を進めて待機児童が無い形にはしたいと考えております。</p>
<p>市長</p>	<p>鶴崎公民館についてお願いします。</p>
<p>社会教育課</p>	<p>社会教育課永田です。今回の施設整備に当たりましては、地域の交流スペースを設けております。場所としては、今の公民館の事務室がある前の部分に、今でも多目的スペースがあるのですが使われていませんので、その部分とその奥にあります図書室を取り込んだ形で広げて交流スペースを作る予定にしております。また学習スペースにつきましては、特に年齢等含めて使用制限がございません。令和元年の5月以降にホームページやチラシを活用して高校等を含めて皆さん方に周知しておりますので、今後は交流スペースを含めて皆さん方に発信して行きたいと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。 それから、フードドライブについてですが、先日市役所職員対象に集めましたよね。</p>
<p>子育て支援課</p>	<p>子育て支援課 横川です。ごみ減量推進課を中心に行いました。あと子ども食堂は最終的には貧困の関係につながるという事で、子育て支援課、福祉保健課、長寿福祉課も一緒に賛同して4課合同で実施いたしました。先日は、大分市の職員を対象に行いましたが、県の方も行ってございまして、全国的にも少しずつ広がっている取組になっております。</p>
<p>市長</p>	<p>併せて、先ほどトリニータの選手が挨拶に来たのですが、高木駿選手が共食の大使をやっています。共食というのは、孤食にならないようにみんなで食事をしましょうという運動ですよね。子どもを孤立させないためにも、</p>

<p>大久保委員</p>	<p>多方面からの取組が必要になると思います。</p> <p>子ども食堂についてですが、素晴らしい取組で、すごく興味があるのですが、大分市内に 16 団体、20 ヲ所あるということですが、どういう内容でどの様に行っているのでしょうか。それから実施している場所が把握できておりませんが、どうすれば知ることができるのでしょうか。</p> <p>学校に行っているお子さんがいる保護者の方は、学校の広報誌等、ここで子ども食堂をやっていますよというお知らせみたいなもので知っているのでしょうか。インターネットで調べればわかると思うのですが、一般の市民の人はあまり知らないと思うのですが、それはどうすれば知ることができるのですか。</p>
<p>子育て支援課</p>	<p>子育て支援課 横川でございます。子ども食堂を実施している市内の 16 団体、20 ヲ所につきましては、県社協のホームページの方にも掲載しておりますし、基本的には子ども食堂を立ち上げる場合には、その地区の学校にお知らせをするようにという事で、地域の自治会の委員さん達にもご説明をして回っていただくようにしておりますので、基本的にはその校区の子どもたちは、場所を知っている形になっていると思います。</p>
<p>大久保委員</p>	<p>では、一般の市民の方はホームページで見れば内容など色々確認できるということですね。</p>
<p>子育て支援課</p>	<p>はい。確認する方法は県社協のホームページとなります。</p>
<p>大久保委員</p>	<p>分かりました。ありがとうございました。</p>
<p>市長</p>	<p>出来るだけ情報をしっかり確認出来るようにした方がいいですよ。どういう子ども食堂か、毎日やっている所もあれば、週 1 回という所もありますから。老人クラブと一緒にやっている所もありますよね。</p>
<p>教育長</p>	<p>実は私、今日の午前中にビーコンプラザで、大分県地域婦人連合会の研究大会があつて行っていたのです。そこで大分市明野地区の方が、まさに子ども食堂の発表をしたのです。県社協の調査によると、本日現在で大分市は 19 ヲ所、県内で 56 ヲ所あるということでした。どこも行っていたいているのは、子ども食堂はかつて貧困対策というのが背景にあったのですが、今はまさに子どもの居場所づくりですね。今日の明野の事例は小野さんという方が中心になってやっていたいっているのですが、実は大分高校のボランティア</p>

	<p>部がそこにタイアップしているのです。校区公民館の椅子を借りて、ご飯を食べた後に書道教室や宿題の答え合わせをしてくれるなど、高校生が小学生に学習を教えてくれていて非常にありがたい取組です。ところが、県内のどこも気になっているのは学校と連携が取れていないことです。私も校長に、あなたの学校の校区にこういう子ども食堂があるけど、何人行って、誰が行っているか把握しているかと聞くと、分からないのです。</p> <p>長期休業期間中しか開いていないというのも当然ありますし、中には有料の所や無料の所があるなど、非常に多様な形態で行っているのですが、アレルギーの問題など情報共有をすべき点多々あります。そのことについて保護者の方は知っているのか、責任は誰が取るのか、そういった問題もあるので、今後はより学校と連携を取っていく必要があると痛感しております。</p>
子育て支援課	<p>子育て支援課 横川でございます。子どもの居場所づくりネットワークへの加入と補助金を出す条件と致しましては、必ず校区の校長先生、それと自治会長さんに説明をしたという形の印鑑をもらってきていただくという事と、食品衛生管理者を置くという条件を設けておりまして、その上で補助金を出すという要件にしております。今、教育長の発言にございました心配事を少しでも解決するために、補助金を支出する要件として設けておりますので、基本的に大分市内にある子ども食堂が全部参加して頂く形になれば、ご心配いただいた件についても解決できるのではないかと考えております。</p>
教育長	<p>今後とも一緒にやりましょう。よろしく申し上げます。</p>
古城（和）委員	<p>前後いたしますけども、目標3の教職員の働き方改革とも絡んでいると思うのですが、働き方改革に関するハード面の整備は大体済んだと思っていいいのでしょうか。その辺をお伺いしたいと思います。タイムカードなども入れましたし。</p>
教育総務課	<p>教育総務課 高田でございます。現時点では、タイムレコーダーと時間外の電話対応について整備しております。今後につきましては、給食費の公会計化の実施や、学校徴収金を含めた徴収・管理システムの構築を今後さらに進めていきたいと考えております。</p>
古城（和）委員	<p>次に目標1の6番と8番の英語教育、プログラミング教育でありますけども、指導主事の先生が学校を巡回訪問して、学校の先生方と実際にコンタクトを取る中で、英語教育やプログラミング教育に関する問題点といいますか、あるいは予算措置をすべき問題点はどんなものがあるのかについてお伺</p>

<p>学校教育課</p>	<p>いしたいです。</p> <p>学校教育課 坂本でございます。</p> <p>学校を巡回訪問しておりますが、教員の授業を実際に見ることで、授業者の個別の課題を明らかにして指導しております。課題としては、小学校の英語教育ではALTの活用もございますが、担任が全教科の授業を担当しているという事から、打ち合わせ時間の確保が課題となっております。打ち合わせを十分にした場合には効果的にALTを活用出来るのですが、打ち合わせ自体を十分に行えていないことが大きな課題となっております。</p> <p>もう一つの課題は、先生自身の英語運用能力についてです。それに関しては、ICT等を効果的に活用し、デジタル教材等を使っての音声指導、そして場面設定等を紹介しながらの授業展開を行うよう指導しております。</p>
<p>教育センター</p>	<p>大分市教育センターの御手洗です。プログラミング教育でございますけども、昨年11月に神崎小中学校での公開研、それから先日、野津原小学校での公開研が行われました。2年前からこの推進校を立ち上げるとともに、教育センターの研修に各学校1名～2名参加する中、プログラミング教育の推進を学校に周知してまいりました。来年度4月からは、5年生と6年生に全小学校でプログラミング教育が行われるようになります。その中で、教育課程での位置付け、5、6年生で行われる算数、理科の授業での指導の在り方、また、野津原小学校、神崎小中学校で行った授業等の動画の発信してまいりたいと考えています。</p> <p>それから、教育センターには1年間の長期派遣の研修生がプログラミング教育の研究をしております。小学校の低学年から高学年までに至る系統的なプログラミング教育の研究をしており、その内容の発信をする予定にしております。これまでの研究の中で、プログラミング教育を行う中では、子どもがまずコンピュータに慣れ、扱うことができるようになるという点が課題になっております。今年度10月に教育用のパソコンを2時間2人に1台使えるよう環境整備しておりますので、これを上手く使いながら、子どもたちがコンピュータに慣れた後に導入が上手く進むように教育センターから情報発信をしていきたいと考えております。</p>
<p>古城（和）委員</p>	<p>15番、スクールソーシャルワーカー活用事業とあるのですが、現在29名ということによろしいでしょうか。そうしますと、平均で1人のスクールソーシャルワーカーが87.6件担当する、そして対応延べ件数では1事案あたり22回関わって対応しているという計算になりますよね。相当ハードになっているのではないかなと思いましたがけれども、そういった面でも、今後</p>

<p>教育センター</p>	<p>増やしていくという形になるのでしょうか。</p> <p>教育センターの御手洗です。実際にスクールソーシャルワーカーの認知度が高まっております、保護者からの相談件数も年々増加するとともに、子どもの状況をみとるソーシャルワーカーのスキルも向上しております。そのような中で、深刻な事案については、子ども家庭支援センターと併任している主任のスクールソーシャルワーカーと相談しながら、どのような形で関係機関と繋いでいくかという所を含めて業務を行っている状況です。</p> <p>しかし、大規模校など学校によっては相談件数が多いという事もあり、一人のスクールソーシャルワーカーでは対応が難しい所もあります。今後は、複数配置などの配置変えや、相談件数、対応件数などを確認し精査する中、人数の増員について検討していきたいと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>体制を強化していかないと、まだ十分ではないですね。</p> <p>大変貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。また、英語とプログラミングがいよいよ4月1日から小学校でも本格的に開始されるという事で準備して頂いておりますけど、最初は色々と課題も出てくると思いますので、他都市で行っている取組等も参考にしながら、修正をしていってください。それからスクールソーシャルワーカーをはじめとしまして、子どもが安全にしっかりと勉強ができる環境づくりなど、課題が山積している状況でございますので、引き続きしっかりと取り組んでいただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、本日の議事はこれで終了させていただきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
<p>企画部長</p>	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和元年度 第5回大分市総合教育会議を終了いたします。今回が今年度最後の会議となりましたけれども、来年度の開催日程等につきましては事務局で調整させていただきながら改めてご連絡いたしたいと思っております。</p> <p>本日は本当にありがとうございました。</p>